

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年10月13日
【四半期会計期間】	第63期第2四半期（自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）
【会社名】	株式会社 MORESCO
【英訳名】	MORESCO Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長 赤田 民生
【本店の所在の場所】	神戸市中央区港島南町五丁目5番3号
【電話番号】	078-303-9010
【事務連絡者氏名】	取締役 専務執行役員 竹内 隆
【最寄りの連絡場所】	神戸市中央区港島南町五丁目5番3号
【電話番号】	078-303-9010
【事務連絡者氏名】	取締役 専務執行役員 竹内 隆
【縦覧に供する場所】	株式会社MORESCO 東京支店 （東京都港区東新橋一丁目5番2号） 株式会社MORESCO 大阪支店 （大阪市中央区備後町三丁目2番15号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第2四半期 連結累計期間	第63期 第2四半期 連結累計期間	第62期
会計期間	自 2019年3月1日 至 2019年8月31日	自 2020年3月1日 至 2020年8月31日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高 (百万円)	13,546	11,348	27,064
経常利益 (百万円)	733	58	1,568
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失 ( ) (百万円)	341	90	776
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	333	299	953
純資産額 (百万円)	17,829	17,569	18,209
総資産額 (百万円)	28,331	26,610	28,129
1株当たり四半期(当期)純利 益又は1株当たり四半期純損失 ( ) (円)	35.57	9.35	80.91
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	55.5	57.9	56.6
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	736	696	1,771
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	1,287	317	1,589
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	736	152	78
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	3,118	3,767	3,213

回次	第62期 第2四半期 連結会計期間	第63期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年6月1日 至 2019年8月31日	自 2020年6月1日 至 2020年8月31日
1株当たり四半期純利益又は1 株当たり四半期純損失 ( ) (円)	17.14	7.55

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態および経営成績の状況

新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延の影響を受け、当第2四半期連結累計期間における世界経済は急速に悪化し、今なおその状況は継続しております。

このような状況のもと、当社グループにおきましても、主要販売先である自動車部品メーカーの各国での操業停止や減産の影響を受け、売上高は11,348百万円（前年同期比16.2%減）となり、営業利益は100百万円（前年同期比84.5%減）、経常利益は58百万円（前年同期比92.1%減）となりました。また設立間もないインド子会社が税引前四半期純損失を計上していることから、親会社株主に帰属する四半期純損失は90百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益341百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

日本

（特殊潤滑油）

上期（3～8月）の自動車生産台数が前年同期比30.5%減少で推移する中で、ダイカスト用油剤等特殊潤滑油は減収となりました。

（合成潤滑油）

データセンター向けハードディスクドライブ需要の増加を背景に第1四半期は前年同期比増加で推移したハードディスク表面潤滑剤は、第2四半期で顧客での操業停止の影響を受け前年同期比減少に転じました。また、高温用潤滑油の出荷も世界的な自動車生産台数減少の影響を受け減収となりました。

（素材）

流動パラフィン、リチウムイオンバッテリー用途およびポリスチレン可塑性用途での出荷は微減にとどまりましたが、化粧品用途での出荷がインパウンド消費の減少や外出自粛の影響を受け減収となりました。金属加工油の添加剤として使用されるスルホネートは、上述の特殊潤滑油と同様の要因により減収となりました。

（ホットメルト接着剤）

主力の衛生材用途での出荷は堅調に推移し、前年同期並みの実績となりました。また、粘着用途での出荷は宅配便需要増加に伴う荷札シール需要の増加により増収となりました。一方で、自動車内装関連用途での出荷は減収となりました。

（エネルギーデバイス材料）

有機EL用封止材およびガス・水蒸気透過度測定装置は、顧客での操業停止や減産あるいは設備投資の延期等の影響を受け減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は8,475百万円（前年同期比17.9%減）となり、セグメント損失は8百万円（前年同期は486百万円のセグメント利益）となりました。

中国

第1四半期（1～3月）に急減速した自動車生産は4月以降回復に転じましたが、上期（1～6月）においては前年同期比16.8%減少の水準にとどまっております。このような状況の中で、ダイカスト用油剤等特殊潤滑油は減収となりました。一方、ホットメルト接着剤は、衛生剤用途およびフィルター用途での出荷が好調に推移した結果、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は1,302百万円（前年同期比9.7%減）にとどまりましたが、原価低減および販管費の抑制によりセグメント利益は84百万円（前年同期比36.4%増）となりました。

東南/南アジア

当社グループの事業拠点が所在する国における上期（1～6月）の自動車生産台数が前年同期比47.9%減少で推移する中、ダイカスト用油剤等特殊潤滑油は大幅な減収となりました。一方、ホットメルト接着剤の売上は堅調に推移し、前年同期並みの実績となりました。昨年7月に竣工したインド子会社においては、今年1月より現地生産品の販売を開始したところですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、活動は停滞を余儀なくされております。

この結果、当セグメントの売上高は1,867百万円（前年同期比14.9%減）となり、セグメント利益は12百万円（前年同期比84.7%減）となりました。

北米

上期（1～6月）の自動車生産台数が前年同期比39.3%減少で推移する中で、ダイカスト用油剤等特殊潤滑油は減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は282百万円（前年同期比23.3%減）にとどまりましたが、高付加価値品の売上構成比率の上昇および販管費の抑制によりセグメント利益は15百万円（前年同期は9百万円のセグメント損失）となりました。

財政状態は、次のとおりです。

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,518百万円減少し、26,610百万円となりました。これは主に、売上債権が減少したこと、有形および無形固定資産が償却の進展に伴いそれぞれ減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて878百万円減少し、9,041百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加した一方で、仕入債務および長期借入金がそれぞれ減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて640百万円減少し、17,569百万円となりました。これは主に、利益剰余金および為替換算調整勘定がそれぞれ減少したことによります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて554百万円増加し、3,767百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは696百万円の収入（前年同期は736百万円の収入）となりました。これは主に減価償却費等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは317百万円の支出（前年同期は1,287百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは152百万円の収入（前年同期は736百万円の収入）となりました。これは主に短期借入金の純増等によるものです。

(4) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、661百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因および経営戦略の現状と見通し

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因に重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年10月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,696,500	9,696,500	東京証券取引所市場第一部	単元株式数100株
計	9,696,500	9,696,500	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減 額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2020年6月1日～ 2020年8月31日	-	9,696,500	-	2,118	-	1,906

(5)【大株主の状況】

2020年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
松村石油株式会社	大阪市北区西天満2丁目8番5号	1,067	11.11
コスモ石油ルブリカンツ株式会社	東京都港区芝浦1丁目1-1	503	5.24
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	414	4.31
MORESCO従業員持株会	神戸市中央区港島南町5丁目5-3	384	3.99
日本曹達株式会社	東京都千代田区大手町2丁目2番1号	365	3.80
双日株式会社	東京都千代田区内幸町2丁目1-1	327	3.40
三菱商事株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目3番1号	327	3.40
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 株式会社日本カスト ディ銀行)	東京都千代田区大手町1丁目5-5 (東京都中央区晴海1丁目8-12)	250	2.60
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	250	2.60
スターライト工業株式会社	大阪市旭区大宮4丁目23-7	226	2.35
計	-	4,113	42.82

(注)1. 上記日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、414千株であります。

2. 2020年4月6日付で公衆の縦覧に供されている変更報告書(特例対象株券等)において、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループおよびその共同保有者である株式会社三菱UFJ銀行他3社が2020年3月30日現在でそれぞれ以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として2020年8月31日現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況は株主名簿に基づいて記載しております。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	250	2.58
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	112	1.16
三菱UFJ国際投信株式会社	東京都千代田区有楽町一丁目12番1号	33	0.34
三菱UFJモルガン・スタン レー証券株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目5番2号	17	0.17

(6)【議決権の状況】  
【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 91,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,600,100	96,001	-
単元未満株式	普通株式 5,300	-	-
発行済株式総数	9,696,500	-	-
総株主の議決権	-	96,001	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式8株が含まれております。

【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社 MORESCO	神戸市中央区港島 南町5丁目5-3	91,100	-	91,100	0.94
計	-	91,100	-	91,100	0.94

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）および第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,576	4,128
受取手形及び売掛金	6,720	5,286
商品及び製品	2,714	2,619
原材料及び貯蔵品	2,065	1,937
その他	383	389
貸倒引当金	23	19
流動資産合計	15,436	14,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,791	3,660
機械装置及び運搬具(純額)	2,085	1,911
土地	2,428	2,424
その他(純額)	730	736
有形固定資産合計	9,034	8,732
無形固定資産		
のれん	474	410
その他	572	501
無形固定資産合計	1,046	911
投資その他の資産	2,613	2,627
固定資産合計	12,693	12,270
資産合計	28,129	26,610
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,072	2,873
短期借入金	2,341	3,053
未払法人税等	161	84
賞与引当金	440	438
その他	1,049	975
流動負債合計	8,063	7,424
固定負債		
長期借入金	1,244	1,005
退職給付に係る負債	457	465
その他	155	147
固定負債合計	1,856	1,617
負債合計	9,919	9,041
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,118	2,118
資本剰余金	1,979	1,976
利益剰余金	11,998	11,668
自己株式	157	146
株主資本合計	15,939	15,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	17
為替換算調整勘定	10	220
退職給付に係る調整累計額	13	4
その他の包括利益累計額合計	7	207
非支配株主持分	2,278	2,160
純資産合計	18,209	17,569
負債純資産合計	28,129	26,610

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	13,546	11,348
売上原価	9,220	7,812
売上総利益	4,326	3,536
販売費及び一般管理費	1, 2 3,678	1, 2 3,436
営業利益	648	100
営業外収益		
受取利息	10	14
受取配当金	10	10
持分法による投資利益	105	70
その他	46	23
営業外収益合計	170	118
営業外費用		
支払利息	10	7
為替差損	73	137
その他	3	16
営業外費用合計	86	161
経常利益	733	58
税金等調整前四半期純利益	733	58
法人税、住民税及び事業税	270	115
法人税等調整額	9	16
法人税等合計	279	99
四半期純利益又は四半期純損失( )	454	41
非支配株主に帰属する四半期純利益	112	49
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )	341	90

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	454	41
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	2
為替換算調整勘定	91	257
退職給付に係る調整額	6	9
持分法適用会社に対する持分相当額	11	12
その他の包括利益合計	120	258
四半期包括利益	333	299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240	289
非支配株主に係る四半期包括利益	93	9

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	733	58
減価償却費	649	652
持分法による投資損益(は益)	105	70
退職給付に係る資産又は負債の増減額	39	17
賞与引当金の増減額(は減少)	21	3
貸倒引当金の増減額(は減少)	5	3
受取利息及び受取配当金	20	24
支払利息	10	7
売上債権の増減額(は増加)	54	1,359
たな卸資産の増減額(は増加)	50	160
仕入債務の増減額(は減少)	331	1,155
未払消費税等の増減額(は減少)	72	89
その他	114	57
小計	975	819
利息及び配当金の受取額	124	93
利息の支払額	13	6
法人税等の支払額	350	210
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>736</b>	<b>696</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(は増加)	81	0
有形固定資産の取得による支出	1,334	250
無形固定資産の取得による支出	7	15
投資有価証券の取得による支出	24	51
貸付金の純増減額(は増加)	0	0
その他	4	3
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,287</b>	<b>317</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	15	891
長期借入れによる収入	1,400	-
長期借入金の返済による支出	353	414
配当金の支払額	240	239
非支配株主への配当金の支払額	42	39
その他	14	46
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>736</b>	<b>152</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	23
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	187	554
現金及び現金同等物の期首残高	2,930	3,213
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,118	3,767

【注記事項】

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルスの影響につきましては、今後一定期間続くものの緩やかに改善するとの仮定のもと会計上の見積りを行っております。しかしながら、新型コロナウイルスによる影響は不確定要素が多く、収束時期および経済環境への影響が変化した場合には、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結貸借対照表関係)

資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
投資その他の資産	0百万円	0百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
給料手当	986百万円	1,021百万円
賞与引当金繰入額	338	311
退職給付費用	71	76

2 一般管理費に含まれる研究開発費

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
一般管理費に含まれる研究開発費	707百万円	661百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
現金及び預金勘定	3,481百万円	4,128百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	363	361
現金及び現金同等物	3,118	3,767

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月28日 定時株主総会	普通株式	240	25.00	2019年2月28日	2019年5月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月11日 取締役会	普通株式	240	25.00	2019年8月31日	2019年11月12日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月26日 定時株主総会	普通株式	240	25.00	2020年2月29日	2020年5月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年10月13日 取締役会	普通株式	144	15.00	2020年8月31日	2020年11月11日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,697	1,315	2,178	356	13,546	-	13,546
セグメント間の内部 売上高又は振替高	625	126	17	12	780	780	-
計	10,322	1,442	2,195	368	14,326	780	13,546
セグメント利益又は損 失( )	486	61	81	9	618	30	648

(注)1.セグメント利益又は損失( )の調整額30百万円には、セグメント間取引消去34百万円、たな卸資産の調整額4百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2.セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,029	1,189	1,857	274	11,348	-	11,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	446	113	10	8	577	577	-
計	8,475	1,302	1,867	282	11,925	577	11,348
セグメント利益又は損 失( )	8	84	12	15	103	3	100

(注)1.セグメント利益又は損失( )の調整額3百万円には、セグメント間取引消去0百万円、たな卸資産の調整額2百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2.セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失( )	35円57銭	9円35銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )(百万円)	341	90
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )(百万円)	341	90
普通株式の期中平均株式数(株)	9,593,308	9,601,111

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2020年10月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ)配当金の総額.....144百万円

(ロ)1株当たりの金額.....15円00銭

(ハ)支払請求の効力発生日および支払開始日.....2020年11月11日

(注)2020年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月9日

株式会社MORESCO

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 荒井 巖 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 古田 賢司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社MORESCOの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社MORESCO及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。